

1. 単元目標、

- ・地域にどのようなものがあるかやほしいか、地域のよさなどを表す表現が分かる。【コ】
- ・地域のよさや課題などについて話される英語を聞いて、その概要を捉えたり、自分が住む地域について、よさや願いなど自分の考えや気持ちを伝え合う。【慣】
- ・言語や人、それぞれに違いがあることに気付く。【気】

2. 単元評価規準

- ◎地域にあるもの、ないものについて聞きとれる。
- ◎地域にはどのような施設があるか、ないかについて聞いたり言ったりしている。
- ◎地域の良さなどについて、伝え会おうとする。

3. 表現

- ・ We [have / don't have] (a gym). We can (play basketball). I want a [library / park]. (Sakura) is nice. town, 施設と建物 (amusement park, aquarium, swimming pool, stadium, roller coaster, Ferris wheel) , but, so, nature, 動作 (dancing, jogging, playing, reading, shopping, singing, swimming, walking)

4 単元計画 (4 時間)

時	目標と主な活動	コ 慣 気 評価規準＜方法＞		
1	◆自分たちの住む町のよさや改善点を聞いて、その内容が分かる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ (WC2-U4) 【Let's Listen 1】「登場人物の話聞こう。」 ・ (WC2-U4) 【Let's Listen 2】「町にあるものに○をつけよう。」 ・ (WC2-U4) 【Let's Play 2】「Pointing Game」 ・ (WC2-U4) 【Let's Chant】“I like my town.” ・ Sounds and Letters「アルファベットの小文字を書こう。」 	○		◎地域にあるもの、ないものについて聞き、番号を記入している。〈行動！見察・記述分析・振り返りカード点検〉 ◎地域にあるもの、ないものについて聞き、表に記入している。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉
2	◆自分たちが住む町のよさや改善点を聞いて、その内容が分かる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ (WC2-U4) 【Small Talk】 ・ (WC2-U4) 【Let's Chant】“I like my town.” ・ (WC2-U4) 【Let's Listen 1】「登場人物の話聞こう。」 ・ (WC2-U4)「集中力ゲーム」 ・ (WC2-U4)「施設の絵カードを交換しよう。」 ・ Sounds and Letters「アルファベットの小文字を書こう。」 	○	○	◎地域にはどのような施設があるか、ないかについて聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉
3	◆自分たちが住む町のよさや改善点について聞きその内容が分かるとともに、自分が住んでいる地域のよさについて話す。 <ul style="list-style-type: none"> ・ (WC2-U4) 【Let's Chant】“I like my town.” ・ (WC2-U4) 【Let's Play 1】「友だちが選んだ町を当てよう。」 ・ (WC2-U4) 【Let's Listen 3】「音声を聞いて表にまとめよう。」 ・ (WC2-U4) 【Let's Talk】 ・ Sounds and Letters「アルファベットの小文字を書こう。」 	○		◎地域にはどのような施設があるか、ないかについて聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉
4	◆地域にあってほしい施設について話される英語を聞いて、意味が分かるとともに、自分たちが住む地域にあってほしい施設を伝え合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 《WC2-U4》 【Let's Chant】“I like my town.” ・ 《WC2-U4》 【Let's Watch and Think 1】「町についての話を聞こう。」 ・ 《WC2-U4》 【Let's Play 3】「Pointing Game」 ・ 《WC2-U4》 【Activity 1】「自分たちの町について話そう。」 ・ 《WC2-U4》 【STORY TIME】 ・ Sounds and Letters「アルファベットの小文字を書こう。」 	○	○	◎登場人物が欲しいと思う施設を聞き取り、表を完成している。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉

2-Lesson 9 I like my town. 1/4時間

目 標 自分たちの住む町のよさや改善点を聞いて、その内容が分かる。

準 備 デジタル教材、教師用カード、児童用カード、振り返りカード

児童の活動	指導者の活動	準 備
<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。 ・アルファベットの読み方と音に慣れる。(Hi, friends! Plus ジングル) 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。 ・児童の実態に合わせて、バージョン・速度を選択する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材
<p>○ (WC2-U4) 【Let's Listen 1】「登場人物の話を知ろう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の住む地域について説明している音声を聞いて、誌面にある6つの絵のうち当てはまる2つを選び、番号を記入する。 	<p>音声を聞かせる前に、誌面にある6つの町について児童とやり取りをする。それぞれの町にあるものを発表させたり、I like this town. Do you like this town? What's this? Oh, this is a library.などと質問をして児童の答えやつぶやきを拾ったりしながら、あらかじめ町の様子をつかませておき、音声を聞かせるようにする。そうすることで、どの児童も安心して、意欲的に音声を聞けるようにする。</p> <p>・答え合わせをして終わりという単に聞き取りの活動とせず、2つの町の説明から、Do you like this town? Do you like swimming? Is this a nice town?などと質問し、児童の気持ちや考えを引き出すようにする。また、We have a library in our / 00 town? Do you want library?などの質問もし、単元の見通しがもてるようにすることも考えらえる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材 ・児童用テキスト
<p>○ (WC2-U4) 【Let's Listen 2】「町にあるものに○をつけよう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞く前に、誌面にある施設を教師と確認する。 ・自分たちの校区にあるものとなないものを、We have～. / We don't have～.の表現を使って全員で言い、表現に慣れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞く前に、誌面にある施設を児童と確認しておく。 ・3つの町について、その町にあるものとなないものを紹介する音声を聞き、各々にある施設を選んで○をつけさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材 ・児童用テキスト
<p>○ (WC2-U4) 【Let's Play 2】「Pointing Game」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童は指導者が言う施設名を聞き、紙面にある絵をさし示す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者は誌面にある施設の名前を言い、言い方を何度も聞かせたり言わせたりして、慣れ親しませるようにする。 ・指導者は児童の様子を見ながら何度も聞かせ、児童全員が絵をさし示したあとに、教師用絵カードを提示して確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材
<p>○ (WC2-U4) 【Let's Chant】“I like my town.”</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞き、リズムに合わせて、絵カードを見ながら言う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・聞こえた単語を児童と確認し合う。 	
<p>○ Sounds and Letters 「アルファベットの文字を書こう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参考例に習って、四線上のグレーのアルファベットの文字を形に注意しながら、なぞる。 ・振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の実態に合わせて、3文字ほど書く。 ・授業で扱っている語彙や表現に出てくる文字を書く。 ・感想を発表する。 ・挨拶をする 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート

2-2-Lesson 9	I like my town.	2/4 時間
目 標 自分たちの住む町のよさや改善点を聞いて、その内容が分かる。		
準 備 デジタル教材、教師用カード、児童用カード、振り返りカード		

児童の活動	指導者の活動	準 備
○挨拶をする。 ○アルファベットの読み方と音に慣れる。(Hi, friends! Plus ジングル)	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。 ・デジタル教材でチャンツを視聴しながら、音声に合わせて言う。 ・児童の実態に合わせて、バージョン・速度を選択する。	・デジタル教材 ・アルファベットカード
○ (WC2-U4) 「Small Talk」 自分の町のどんなところが、好きか。 ・指導者と児童で簡単な会話をする。 S1 :I like my town. We have a big supermarket. S2:I like my town. We have a nice library.	・前時の復習のために、自分の町のどのようなところが好きかについて話させる。 ・指導者が自分の町にどんな施設があるかを簡単に紹介し、続いてペアで対話をさせる。	
○ (WC2-U4) 【Let's Chant】 “I like my town.” ・音声を聞き、絵カードを見ながら言う	・聞こえた単語を児童と確認し合う。	デジタル教材
○ (WC2-U4) 【Let's Listen 1】 「登場人物の話を知ろう。」 ・音声を聞く前に、知っている建物の単語などを児童と確認する。 ・自分の住む地域について説明している音声を聞いて、誌面にある 6 つの絵のうち当てはまる 2 つを選び、誌面の口に 3, 4 と記入する。	・前時と同様に、Let's Listen1 をすることを告げる。 T: Let's listen. Please find which town (each person lives in). Please write 3 or 4 in the box. ・繰り返し聞くことで、全員が聞き取れるようにする。答え合わせをして終わりという単に聞き取りの活動とせず、2つの町の説明から、Do you like this town? Do you like the amusement park? Is this a nice town? などと質問し、児童の気持ちや考えを引き出すようにする。また、We have a department store in our / ○○ town? Do we have a library? Do you want a department store / library?などの質問もし、児童に We have / don't have ~. の表現を使って自身の町にあるもの、ないものを言うよう促す。	デジタル教材 児童用テキスト
○「集中力ゲーム」 ・児童は施設と建物の絵カードを机に広げる。 ・指導者が施設名・建物名をいくつか続けて言うので、児童はそれを聞き、指導者が言った順番通りに絵カードを並べる。	・グループ(ペア) で集中力ゲームをすることを告げる。 T: Please spread your cards on your desk. Listen to me carefully. Place the cards in the right order. Library, swimming pool, aquarium ・ゲームが終わったらカードの順を確認するが、単に答え合わせにならないよう、児童と町にある施設についてやり取りをする。	・児童用カード (施設)
○「施設の絵カードを交換しよう。」 ・ペアになり、10 種類の絵カードの中から自分たちの町にあるとよいものを 6 つ選ぶ。一方が Do you have ~? と尋ね、もう一方はそのカードを持っていれば、Yes, I do. と言ってその絵カードを出す。持っていない場合は、No, we don't. と言う。交互に役割を入れ替えて繰り返し行い、早くすべてのカードがなくなったペアが勝ち。	・代表児童とデモンストレーションを見せ、進め方を理解させるようにする。	・児童用カード (施設)
○ Sounds and Letters 「アルファベットを書こう」 ・参考例に習って、四線上のグレーのアルファベットの文字を形に注意しながら、なぞる。 ・振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・児童の実態に合わせて、3 文字ほど書く。 ・授業で扱っている語彙や表現に出てくる文字を書く。 ・感想を発表する。 ・挨拶をする	・ワークシート ・振り返りカード

2-Lesson 9	I like my town.	3/4 時間
<p>目 標 自分たちが住む町のよさや改善点について聞きその内容が分かったとともに、自分が住んでいる地域のよさについて話す。</p> <p>準 備 デジタル教材、教師用カード、児童用カード、振り返りカード</p>		

児童の活動	指導者の活動	準 備
<p>○挨拶をする。</p> <p>○アルファベットの読み方と音に慣れる。 (Hi, friends! Plus ジングル)</p> <p>○ (WC2-U4) 【Let's Chant】 “I like my town.” ・ 音声を聞き、一緒に合わせて言う。</p>	<p>・ 全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。</p> <p>・ デジタル教材でチャンツを視聴しながら、音声に合わせて言う。</p> <p>・ 児童の実態に合わせて、バージョン・速度を選択する。</p>	<p>・ デジタル教材</p> <p>・ アルファベットカード</p>
<p>○ (WC2-U4) 【Let's Play 1】 「友達が選んだ町を当てよう。」 ・ ペアになり、P26、27 の誌面を見て、自分が住みたいと思う町を一つ選ぶ。一方の児童が Do you have ～ ? と質問して、もう一方がそれに答える。質問した児童は相手が選んだ町がどれか考えて答える。</p>	<p>・ 始めに指導者が指導員や代表児童でデモンストレーションを見せたからやると良い</p>	<p>児童用テキスト</p>
<p>○ (WC2-U4) Let's Talk</p> <p>・ ～ is a nice city.</p> <p>・ We can enjoy ～.</p> <p>・ I like ～. などの表現を参考にしても良い。</p>	<p>・ 指導者は英語指導員や代表児童とデモンストレーションを見せ、進め方を理解させるようにする。また、地域の良さについて伝える言い方のモデルを示すようにする。</p>	<p>児童用カード (施設)</p>
<div> <p>進め方</p> <p>・ ペアで、10 種類の児童用カード (施設) から自分たちの町にあるとよいと思うものを 6 種類選ぶ。ペア対ペアで、一方のペアが、Do you have ～ ? と、相手の町についてその施設があるかどうかを尋ね、もう一方があれば、Yes, we do. と言ってそのカードを出す。なければ、No, we don't. と言う。手持ちのカードが早くなくなったペアが勝ち。</p> </div>		
<p>○ Sounds and Letters 「アルファベットを書こう」</p> <p>・ 参考例に習って、四線上のグレーのアルファベットの文字を形に注意しながら、なぞる。</p> <p>・ 振り返りカードに記入する。</p> <p>・ 挨拶をする。</p>	<p>・ 児童の実態に合わせて、3 文字ほど書く。</p> <p>・ 授業で扱っている語彙や表現に出てくる文字を書く。</p> <p>・ 感想を発表する。</p> <p>・ 挨拶をする</p>	<p>・ ワークシート</p> <p>・ 振り返りカード</p>

2-Lesson 9	I like my town.	4/4 時間
目 標 地域にあってほしい施設について話される英語を聞いて、意味が分かるとともに、自分たちが住む地域にあってほしい施設を伝え合う。		
準 備 デジタル教材、教師用カード、児童用カード、振り返りカード		

児童の活動	指導者の活動	準 備
○挨拶をする。 ○アルファベットの読み方と音に慣れる。(Hi, friends! Plus ジングル) ○ (WC2-U4) 【Let's Chant】 “I like my town.” ・ 音声を聞き、絵カードを見ながら言う。	・ 全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。 ・ デジタル教材でチャンツを視聴しながら、音声に合わせて言う。 ・ 児童の実態に合わせて、バージョン・速度を選択する。	・ デジタル教材 児童用テキスト・
(WC2-U 9) 【Let's Watch and Think 1】 「町についての話を聞こう。」 ・ デジタル教材を視聴し、3つの町にある施設、ほしい施設を聞き取る。その町にあるものには○を、ほしいものには◎を誌面に記入する。 ・ 数回聞いたあとに答え合わせをする。 ※ほしい施設を I want ～. で表せることに気付くようにする。	・ 児童の実態に応じて、3種類の映像を1度に視聴させるのではなく、1つ1つ答えを確認してから次の映像資料を視聴させてもよい。 ・ 複数回視聴させ、どの児童もが分かったという達成感もてるようにする。また、すべてを把握せずとも、ポイントを聞き取るよう声かけをするとよい。	児童用テキスト)
○ 《WC2-U4》 【Let's Play 3】 「Pointing Game」 ・ 指導者が言う動作や好きなもの・ことを聞き、誌面にある絵を指さす。 ・ 慣れてきたら、I like ～. など文で表現できるようにするとよい。	・ ゲームを始める前に、誌面にある10種類のことやものについて、Do you like reading books? などと好きかどうかを尋ね、10種類のことやものについてやり取りをし、それらを確認させる。 ・ 児童が慣れてきた段階で、言う単語を2～3語に増やし、児童が連続で指さすようにしてもよい。	児童用テキスト 児童用カード (施設)
○ 《WC2-U4》 【Activity 1】 「自分たちの町について話そう。」 ・ Yuta が自分の町について発表している音声を聞き、児童は聞こえた語や分かったことを発表する。はじめは誌面を閉じた状態で、何も見ずに音声を聞く。 ・ 次に、誌面を見ながら音声を聞く。 ・ 各児童は、Yuta の発表を参考に、自分たちの住む町について紹介する内容を考えて、ペアで発表し合う。ペアを変えて複数回繰り返す。	・ Yuta の例を参考に、自分の町にある施設とない施設について考え、ペアで発表させる。 ・ ペアの相手を替え、発表を繰り返させてみる。	デジタル教材
○ 《WC2-U4》 【STORY TIME】 ・ 文字を見ながらデジタル教材の音声を聞き、音声のあとについて言う。 ※読んでいる文字を押さえながら読むようにする。		
○ Sounds and Letters 「アルファベットを書こう」 ・ 参考例に習って、四線上のグレーのアルファベットの文字を形に注意しながら、なぞる。 ・ 振り返りカードに記入する。 ・ 挨拶をする。	・ 児童の実態に合わせて、3文字だけ書く。 ・ 授業で扱っている語彙や表現に出てくる文字を書く。 ・ 感想を発表する。 ・ 挨拶をする	・ ワークシート ・ 振り返りカード

